

白山ふるさと文学賞

第十三回 白山市ジュニア文芸賞 受賞作品

【島清部門】

小学生1・2年 作文の部 最優秀賞

「わたしの大じなかみの毛」

松任小学校二年

八田^{はった}

岬^{みさき}

わたしは、かみの毛をポニーテールにしたり、おだんごにしたり、いろんなむすびかたにしてみようことが大すぎです。一ばんすきなむすび方はみつあみで、おかあさんがまいあさむすんでくれます。学校へ行ったり、あそびに行ったりして、みんなにかわいいねと言ってもらえるのがうれしいです。こしまでのびた長いかみの毛は、かわかすことも、くしでとかすこともとてもじかかんがかかってたいへんだけれども、それでも大じに大じにのびしてきました。

このあいだテレビを見てみると、かみの毛をわたしと同じくらいの長さまでのばしている男の子がいました。どうしてこんなにとかみの毛を長くしているのかなとふしぎに思いました。お話のつづきを見ると、その男の子はヘアドネーションをするためにかみの毛をずっとのばしていたことを知りました。

ヘアドネーションとはじぶんのかみの毛をきふすることだそうです。そのかみの毛をつかってびょうきでかみの毛がぬけたりなくなったりしてしまった人のためにウィッグをつくります。でもつくるには長いかみの毛がたくさんひつようみたいです。いつもお買いものへ行くとど金ばこをみるけれども、お金じゃなくてもきふつてできるんだとはじめて知ってびっくりしました。ヘアドネーションをするためにがんばってこんなに長くかみの毛をのばしてすごいなあ、かつこいいなあと思いました。わたしのかみの長さもヘアドネーションができるかと思いました。だからわたしは夏休みにこしまでずっとのばしていた大じなかみの毛をばつさり切ることにしました。

ひさしぶりのびょういんはすこしドキドキしたけれども、とてもいいにおいがしてわくわくしました。まず、びょういさんがかみの毛をきれいにしてくれて、しっかり長さがあるのかものさしではかかっていました。かみの長さが三十一センチメートルあれば男の人でも女の人でもだれでもヘアドネーションができます。

それからゴムでかみの毛を四つにわけて、

「今から切っていくね。」

と、ハサミとバリカンでちよつとひっぱりながら切ってくれました。あつというまにこしまであつたわたしのかみの毛がかたまでなくなりました。くびがスースーして頭が軽くなりました。びょういさんは、切りおわったわたしのかみの毛をさわらせてくれました。あんなにたくさん切つたのに、ぜんぜんおもたくなって、でもわたしのりよう手はふわふわわらかいかみの毛でいっぱいでした。切つたところはほうきみたいにならずにざらざらしていきもちよかったです。

びょういさんにたくさんしつもんもしました。一人のかみの毛のきふだけで一人ぶんのウィッグはつくれないことも教えてもらいました。一人ぶんのウィッグをつくるためには、五十人ぐらいのかみの毛のきふがひつようだと知ってびっくりしました。みんな一人一人のきようりよくが大切なんだとわかりました。わたしのかみの毛でつくるウィッグは男の子がつかってくれるのか女の子がつかってくれるのかそうぞうするとなんだかたのしくなってきました。

みじかいかみがたにへんしん。わたしはちよつとドキドキしながらおかあさんといもうとのところへ行きました。そしたらおかあさんといもうとも

「かわいくなつたじ。」

と、にこにこしながら言ってくれてとてもうれしかったです。さいしよは「どんなのになるのかなあ。みじかくなつたらなんて言われるかな。」としんぱいだったけれども、ぜんぶおわるところも体もスッキリしてウキウキな気持ちになりました。

ずつと大じにのばしていたわたしのかみの毛とおわかれするのは、ほんとうはちよつときみしかったです。だけど、「わたしのかみの毛がこまつている人をたすけるんだ。」と思って、「バイバイ。わたしのかみの毛、いつてらっしゃい。」とこころの中で言いました。かみの毛にわたしの気持ち、聞こえたかなあ。

しょうがくせいわたしでもこまっている人をたすけるおてつだいができるヘアドネーションについてたくさん知ることができました。はじめてしようせんすることもできました。夏休みがおわったら、おともだちや先生に、みじかくなったかみの毛をみてびっくりしてもらいたいです。「かわいくなったね。」とも言ってもらいたいしみんなにヘアドネーションのことも教えてあげたいです。わたしがまいあさ「きょうはどんなかわいいかみがたにしようかなあ。」とわくわくしていたみたいに、こんどはびょうきでこまっている人たちもわたしのかみの毛でつくったウィッグでわくわくした気もちになってくれたらうれしいです。これからも大じに大じにかみの毛をのばしていこうと思います。そしてまたヘアドネーションもしたいです。

